

議会だより



やまもと

Vol.214

令和8年5月1日発行



入学おめでとう これからたくさんの思い出をつくろう

第1回定例会

会期2月27日
～3月19日

- 議会報告会レポート…………… P2～3
- 定例会概要・予算…………… P4～6
- アンケートにご協力ください…………… P7
- 一般質問（質問議員5人）…………… P8～13
- その他議案…………… P14～15
- 委員会報告…………… P16～17
- 議案審議結果…………… P18
- 会議等出席状況…………… P19

この町の新たな視点を学ばせていただきました

令和8年議会報告会・意見交換会レポート

C班の主な意見

- ・人口減少問題（組織に人員不足）
- ・高齢者や障害者の居場所がない
- ・産業に明確な目標がない
- ・対策として「移住・定住施策」が必要
- ・地域での接点を多くし、人材の発掘
- ・町民の問題点に即した対策を

議員からひとこと

まず、現在抱えている町の課題を出していただきましたが、皆さんの課題には共通点が多く、感じているところ、思うところは同じだなと思いました。今後、声をいかに拾い議会活動に生かすかが問われます。

議会報告会・意見交換会は、令和8年1月31日（土）午後2時から午後4時まで、山下地域交流センター会議室において開催され、約40名の町民の皆さまにご参加いただきました。議会の活動内容をお伝えするとともに、町民の声を直接伺う機会として実施しました。

当日は、議会活動報告の後、「町民全体で考えるまちの未来について」をテーマに、グループワーク形式で意見交換を行いました。参加者は複数の班に分かれ、議員も加わりながら、和やかな雰囲気の中で意見を出し合いました。本報告会を通じて、町民の皆さまと直接お話しできたことは、議会にとって大変貴重な機会となりました。お忙しい中ご参加いただき、さまざまなお意見をお寄せくださった皆さまに、心から感謝申し上げます。

D班の主な意見

- ・地域行事や交流イベントの減少
- ・誰もが参加しやすい交流拠点の整備
- ・健康づくり情報の周知不足
- ・健康づくりに関する情報発信の強化
- ・運動・交流の場が分かりにくい
- ・運動・スポーツ教室の充実

議員からひとこと

健康づくりと地域交流の重要性を的確に捉え、課題と提案が具体的に整理された有意義な意見交換となりました。今後の地域活性化につながる内容です。

A班の主な意見

- ・町の魅力や特産品が十分伝わらない
- ・写真や動画活用で町の魅力を発信強化する
- ・支援制度の情報が分散し分かりにくい
- ・支援制度情報を一覧化し一元的に整理する
- ・若者や子育て世代への発信不足がある
- ・若者向けSNSなどで情報を重点的に発信

議員からひとこと

情報発信は町の魅力向上と住民理解を深める重要な基盤です。発信手段の整理と世代別の伝え方を工夫し、町民と議会が共に発信に関わる体制づくりが必要だと考えます。

E班の主な意見

- ・防災訓練への参加がやや少ない状況
- ・支援が必要な方の避難体制に少し課題がある
- ・緊急時の情報伝達に改善の余地がある
- ・防災訓練をより充実させる工夫が必要
- ・個別避難計画の作成を進めていくことが大切
- ・環境美化の課題

議員からひとこと

行政と地域がより一層連携し、防災・環境・安全対策を総合的に強化することで、安心して暮らせる町づくりを進めていきたい。

近年は猛暑であり、要望されたエアコン設置を町へ繋げていく。

B班の主な意見

- ・高齢者の移動が不便である
- ・交通支援の充実が必要である
- ・施設の老朽化が進行している
- ・安全確保と計画的改修をする
- ・文化財や空き家が未活用である
- ・活用促進で交流人口創出をする

議員からひとこと

いろいろな世代の方から、文化や生活環境についての課題をうかがうことができてよかったです。誰もが安心して住み続けられる生活環境の整備が、定住促進の基盤であることを再認識しました。

今回の議会報告会・意見交換会では、町民の皆さまから暮らしに密着した課題や、町の将来を見据えた多様な意見が寄せられました。分野ごとの意見交換を通じて、日常の中で感じている思いや期待が具体的に共有され、有意義な対話の場となりました。

特に、情報発信の在り方や生活環境の充実、人口減少対策など、町全体で取り組むべき課題が改めて明確になりました。町民の視点からの率直な意見は、今後の政策検討において重要な示唆を与えるものです。

議会としては、今回いただいた声を真摯に受け止め、引き続き町民との対話を重ねながら、実効性ある施策につなげていくことで、持続可能なまちづくりに努めてまいります。

解説！「骨格予算」とは？

Q 骨格予算ってなに？

A 町長選挙などがある年に、職員の給料や施設の管理費など、町を運営するために最低限必要なお金だけを入れた当初予算のことです。

Q なぜ骨格予算にするの？

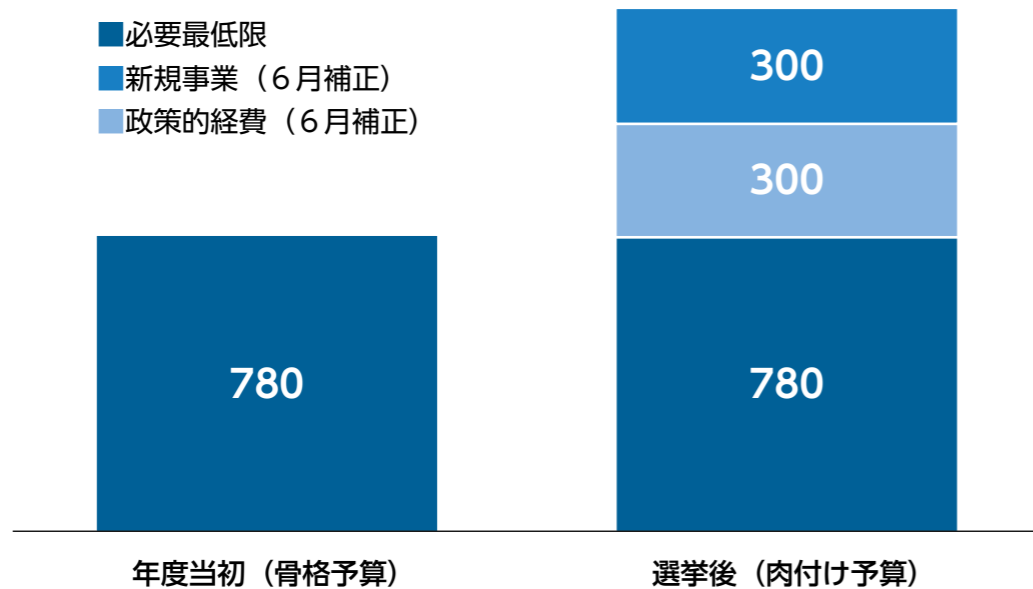
A 新しい町長の考えが決まっていないため、大きな政策を当初から決めないようにするためです。

Q 町長が決まった後は？

A 町長が決まった後は、新しい事業や政策に必要なお金を追加する補正予算を決めます。山元町では6月の町議会(第2回定例会)で行う予定です。これを「肉付け予算」と言います。

骨格予算と肉付け予算の関係(イメージ)

- 必要最低限
- 新規事業(6月補正)
- 政策的経費(6月補正)



令和8年度当初予算 原案通り可決

定例会概要

令和8年第1回山元町議会定例会は、2月27日から3月19日までの21日間の会期で開催され、令和8年度当初予算案を含む予算関係議案6件のほか、条例の制定・改正、人事案件等を含む全23件の議案について審議しました。

一般会計予算案については、討論は行われず、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決されました。また、会期中には5名の議員による一般質問が行われ、町政運営の検証や将来を見据えた政策の在り方について、活発な議論が交わされました。

なお、1月27日に議長を辞職した菊地康彦議員から、議員の辞職願が提出され、3月19日の本会議で許可されました。

令和8年度当初予算概要

令和8年度当初予算は、4月に町長選挙を控えていることから「骨格予算」(次ページで解説)として編成されており、人件費や管理経費などの義務的経費のほか、町民生活への影響が大きく、速やかな実施が必要な事業に係る経費を中心に計上されています。物価高騰や人口構造の変化、自治体DXの推進、防災・減災対策の強化など、社会情勢の変化に的確に対応することを基本方針として編成されました。

一般会計の予算額は、78億9千万円余となり、前年度当初予算と比較して約5億円、5.9%の減となっています。また、一般会計、各特別会計及び水道事業会計・下水道事業会計を含めた各会計当初予算の総額は、約130億5千万円となりました。



令和8年度 各種会計当初予算一覧

会計名	予算額	前年度比較	
一般会計	78億9,334万円	△4億9,924万円	94.1%
国民健康保険事業特別会計	18億2,705万円	1億1,742万円	106.9%
後期高齢者医療特別会計	2億7,514万円	3,418万円	114.2%
介護保険事業特別会計	15億9,054万円	1,157万円	100.7%
水道事業会計	5億4,710万円	1,515万円	102.8%
下水道事業会計	9億2,016万円	△6,400万円	93.5%

— 今回の予算「ココ」が聞きたい！ —

総括質疑

齋藤 俊夫 議員

人件費は正職員にシフトした活用を

〔町長〕 年齢構成等のバランス考慮しながら

問 町税収入約13億円で人件費を賄う関係維持から、今や人件費は19億円と6億円オーバーの認識は。

答 震災後の人口減少で税収が減少する一方で人件費が増え、一気に人件費を削減するとか職員数を減らせない。

問 一時的なダウンはあったが税収は13億円で盛り返したことで、町の財政を担う町長として把握されたい。

答 公務能率の向上を図る観点から、同じ予算を使う会計年度職員の割合(4)を増やさず、正職員の割合(6)を増やすべきと昨年も指摘している。

問 職員数170人で大震災に遭遇し大変苦く辛い経験を勘案すれば、正職員200人を目標に会計年度職員との構成比を変えるべき。

答 一気に増やせないで、年齢構成等のバランスを考慮しながら進めたい。

遠藤 龍之 議員

「総合経済対策」の住民向け対応は

〔町長〕 速やかに対応する

問 政府が示している「総合経済対策」の住民向け施策の対応、「2025年度の重点支援地方交付金」の活用は。

問 各種基金は、住民負担軽減に適正に活用されているか。

答 国の補正予算成立後、速やかに実行することが求められていたことから、具体的には、子育て世帯に対し「物価高対応子育て応援手当」を支給するほか、町独自の支援策として、全町民に一人当たり1万円の商品券の配布や、町内の農漁業者、運輸業等事業者に対する燃料費等の助成、福祉施設、医療機関などへの支援を行う。

問 財政調整基金の対応について、「基金の趣旨に則して確実かつ効率的な運用を行いつつ、優先的に取り組むべき事業への活用など適正な管理運営に努めること」とする、事務連絡があったが、確認されているか。

問 基金の有効活用を求めらる。

議会に関するアンケートにご協力ください

山元町議会では、この度以下の2件についてアンケートを実施します。内容についてご確認いただき、ぜひ2件ともご回答くださいますようお願いいたします。

なお、記入いただいた情報についてはアンケートの集計にのみ使用し、集計結果については、次回以降の議会日より、お知らせいたします。

アンケート 議会だより読者アンケート

町議会では、広報誌をはじめ各種媒体による情報発信を行っています。

それらがどの程度皆さまに親しまれているかを調査するとともに、町民の意見や要望を把握し、今後の広報活動に反映させるために実施します。

今後の「議会だよりやまもと」をはじめ、議会の広報をよりよくするため、率直な声をお聞かせください。

目的



アンケート 議会議員のなり手不足に関するアンケート

令和5年10月の山元町議会選挙は議員定数13名に対して13名と無投票になりました。このアンケートは、議員のあるべき姿となり手不足の要因調査及び対策を行うため実施します。

調査結果及びご意見を議員一同、真摯に受け止め、今後の議会や議員活動に生かしていきたいと考えています。ご記入ご回答をお願いいたします。

目的



● 回答方法

- ① 本誌折り込みのアンケート用紙に直接記入し「役場正面玄関」または「坂元支所」設置の回収ボックスに投函
- ② 議会事務局に郵送・持参
(住所)〒989-2292 山元町浅生原字作田山32 議会事務局 あて
- ③ 回答フォームからWEBで回答→ (オススメ！)

回答期限 令和8年6月30日(火)までお願いいたします。

一般質問 我が町政を問う

一般質問大綱一覧

- 齋藤 俊夫 議員 P 9
 - ★1 1期目の町政運営について
- 大和 晴美 議員 P 10
 - ★1 地域おこし協力隊について
- 菊地 康彦 議員 P 11
 - ★1 これからの子育てについて
- 岩佐 孝子 議員 P 12
 - ★1 魅力があふれみんなが来たくなり、住みたくなるまちづくり
- 遠藤 龍之 議員 P 13
 - 1 就学援助制度の取り組みについて
 - ★2 通学路等の安全確保について
 - ★3 介護保険事業の取り組みについて

※紙面の都合上、質問項目の前に「★」が付いている内容のみ掲載しております。
掲載項目以外の内容の詳細は、録画映像をご覧ください。➡



○一般質問とは
町の行政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をだし、所信の表明を求めるもの。

重要

経緯：令和7年第2回定例会6月6日（金）本会議場での陳情第4号「3,000万円のトイレ整備の再検討を求める陳情」審議において一部議員から陳情者にとって受け入れがたい質疑が繰り返されたため、安心して陳情ができるように、令和7年7月11日に仙台弁護士会人権擁護委員会に対し陳情者（同弁護士会への申立人（以下、「申立人」という。））から人権救済の申し立てが行われました。
同委員会による調査の結果、本議会に対し、発言に伴う記述による申立人の名誉回復措置を講じるよう勧告が示されました（令和8年3月24日）。本議会ではこの勧告に従い、議員のプライバシーや人権に配慮したうえで以下のとおり対応いたします。

本議会が令和7年8月に発行した議会だより第210号の陳情第4号に関する一議員の質疑応答記事において、申立人が二元代表制について詳しく調べていないかのように受け取られる記述があり、同委員会はこれを問題視しましたが、この記述は当該議員が本会議で実際に発言した内容とは異なる記載（**全文※**）をしたことによるものでした。
このことに関し、同委員会から『議会だよりを読む住民らに対して、あたかも申立人が二元代表制を理解していないかのような印象を与えるものであって、申立人の被害は軽視できない。申立人の名誉を毀損したばかりでなく、申立人を萎縮させるものであり、申立人の政治的表現の自由を侵害するおそれがあると言わざるを得ない。（文章引用）』との勧告を受けたものです。
本議会は、この勧告に従い、全文した当該記事を実際の発言内容に修正するとともに、申立人の名誉を傷つける結果となったことを深くお詫び申し上げます。 ※**全文**：誤った発言の語句を整理すること

正誤表 議会だより第210号、12頁

誤	正
「二元代表制を理解しているか。」	「三イン代表制を理解しているか。」

※当日6月6日（金）本会議動画
こちらから

※議会だより第210号を
訂正した号はこちらから

公約達成率30%に満たない責任は町長 今の結果を皆さんの判断に委ねる

問 任期内に必ず実現するとした公約は30%にも満たず、有権者への債務不履行で嘘をついたのも同然。
答 嘘をついたつもりはなく全て達成するつもりでやってきた。努力不足なのか皆さんの判断に委ねる。

問 町政を担うのは権限と責任の行使で権限に応じた責任を負うことが大前提。公約達成が30%に満たない結果責任は。
答 結果として100%は出来なかったが結果は皆さんに判断して貰う。問 低迷するふるさと納税対策として期待を持たせた肉製品の開発に向け、養豚施設の親会社への訪問回数は。
答 返礼品開発に関して親会社訪問はない。子会社訪問は2回だが一定程度進んだ後はない。

問 花釜区で計画のメガソーラー建設に関して、太陽光発電事業が抱える諸課題を踏まえ、将来を見据えた計画の。
答 全国的に太陽光発電施設の設置を望まないう「ノーモアメガソーラー宣言」や、設置規制や条件の厳格化等が加速していることを踏まえた事業推進か。
答 そこまでは調べていない。問 環境防災リスクとして、パネルの破損に
答 デメリットと不安解消は。事業者への補助制度廃止や事業主体の中途変更もあり、事業期間が長期に渡るなどリスクがある。環境保護や安全性確保等の観点から、不安解消と事業への理解が得られるようにする。問 事業推進に向けた検討評価と組織決定は。
答 デメリットの詳細にまでは至らず。

問 全国的に太陽光発電施設の設置を望まないう「ノーモアメガソーラー宣言」や、設置規制や条件の厳格化等が加速していることを踏まえた事業推進か。
答 そこまでは調べていない。問 環境防災リスクとして、パネルの破損に
答 デメリットと不安解消は。事業者への補助制度廃止や事業主体の中途変更もあり、事業期間が長期に渡るなどリスクがある。環境保護や安全性確保等の観点から、不安解消と事業への理解が得られるようにする。問 事業推進に向けた検討評価と組織決定は。
答 デメリットの詳細にまでは至らず。

問 地域社会との合意形成は、条列で定める半径300m範囲内の説明に限定することなく、特殊なケースを踏まえ町民全体への説明機会確保を。
答 指摘のある住民説明を含め、様々な課題があるので慎重に進める。



※イメージ画像（生成AI作成）



さいとう としお 議員
齋藤 俊夫

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。ただけです。

問 環境防災リスクとして、パネルの破損に
答 デメリットと不安解消は。事業者への補助制度廃止や事業主体の中途変更もあり、事業期間が長期に渡るなどリスクがある。環境保護や安全性確保等の観点から、不安解消と事業への理解が得られるようにする。問 事業推進に向けた検討評価と組織決定は。
答 デメリットの詳細にまでは至らず。

問 地域社会との合意形成は、条列で定める半径300m範囲内の説明に限定することなく、特殊なケースを踏まえ町民全体への説明機会確保を。
答 指摘のある住民説明を含め、様々な課題があるので慎重に進める。

町長が地域おこし協力隊の後押しを

町長 協力・連携をして定住を進める

問 「※地域おこし協力隊」の活動内容の情報発信を強化する考えはないか。

答 来年度は各隊員の活動や取り組みを紹介する動画を新たに作成し、町公式のYouTubeやインスタグラムを通じて、全国各地へも情報発信する。

問 9名の隊員が活動しているが、具体的な成果は。

答 成果の一つとして廃校活用をどのようにして、内外にPRする

かなど、コンセプトづくりがある。

問 協力隊員が任期後も町内にとどまれるような住宅支援の制度は。

答 町の移住・定住支援制度を活用し、任期満了後も住宅確保の面において支援できる仕組みを整えている。

問 起業支援の制度は。

答 国の制度を活用し、協力隊員が任期中、または任期終了後に活用できる補助制度を設けている。

問 令和6年第4回定

例会で起業家に対する必要経費補助を提案したが、その後検討されたのか。

答 地域おこし協力隊に対する起業支援としては、1人当たり上限100万円の補助がある。

問 地域おこし協力隊の成果検証の仕組みは。

答 年度当初に年間事業計画を作成、日々の活動は日報アプリで町に報告し、月次の活動報告書を町に提出する。町では全隊員が会する定例会を開催し、それぞれの課題と成果を可視化している。

問 年次報告の公表はするの。

答 毎年、活動報告会を実施している。

問 今後、地域おこし協力隊の組織的活動方針は。

答 町が抱える課題解決に直結したミッションを達成し、課題解決に資する協力隊制度の活用をさらに強化する。

問 令和8年4月着任の協力隊の4つのミッションの中のタレント型・夫婦型についての検討過程は。

答 この二つは移住定住促進メニューで、夫婦型は夫婦で過疎地域に移住していただく。タレント型も移住し、地域の情報発信活動をしていただくもの。

問 任期後の定住率や起業創出を本町の重点成果指標として、町長がトップセールスを行い地域おこし協力隊を後押しすべきではないか。

答 町に残って定住していただけるように地域おこし協力隊と協

力・連携をしていく。

※地域おこし協力隊 都市部から過疎地域へ移住し、最大3～5年間地域活性化支援（PR、農林水産業従事など）を行いながら定住を目指す総務省の制度



協力隊も活動している旧坂元中

議会だより読者アンケート

回答方法：該当するものに☑をお願いします。

提出方法：議会だよりVOL.214 P7をご確認ください。

回答期限：令和8年6月30日(火)までWEB

でも回答を受け付けております→



質問1 議会だよりは読みやすいと思いますか？

- とても読みやすい
 まあまあ読みやすい
 あまり読みやすくない
 読みにくい

質問2 記事の内容は分かりやすいですか？

- とても分かりやすい
 まあまあわかりやすい
 少し難しい
 難しい

質問3 よく読むコーナーはどれですか？(複数回答可)

- 一般質問
 議案審議(討論、総括質疑を含む)
 委員会活動報告
 特集記事(議会報告会、セミナー開催など)
 議案審議結果
 会議等出欠状況

質問4 読まないコーナーはどれですか？(複数回答可)

- 一般質問
 議案審議(討論、総括質疑を含む)
 委員会活動報告
 特集記事(議会報告会、セミナー開催など)
 議案審議結果
 会議等出欠状況

質問5 今後特に知りたい内容は何ですか？(複数回答可)

- 一般質問
 予算・決算
 議会の活動報告
 各議員の考え
 町の課題・考え
 その他()

質問6 ページ数についてどう思いますか？

- ちょうどよい
 多い
 少ない

質問7 文字の量や大きさはどうですか？

- 文字の量: ちょうどよい, もっと多い方がよい, 少なくてもよい
文字の大きさ: ちょうどよい, もっと大きく, 小さくてよい

質問8 議会だより以外で議会の情報を得ている媒体はありますか？(複数回答可)

- 山元町議会ホームページ
 動画配信(ライブ放送、アーカイブ)
 議事録検索サイト
 町公式LINE配信
 特にない

質問9 議会だよりについてご意見・ご要望をご自由にお書きください。

質問10 あなたご自身についてお伺いします。

- 性別: 男性 女性
年齢: 10代 20代 30代 40代, 50代 60代 70代 80代以上
ご職業: 自営業 会社員 会社役員, 農漁業 学生 主婦, パート等 無職 公務員, その他()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。なお、裏面は「議員のなり手不足に関するアンケート」となっております。ぜひそちらもご回答ください。

議会議員のなり手不足に関するアンケート

質問1 あなたは、山元町議会に関心がありますか？

- 関心がある
- どちらかといえば関心がある
- どちらともいえない
- どちらかといえば関心がない
- 関心がない

質問2 もし環境が整えば議員に立候補したいと思いますか？

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらともいえない
- どちらかとしていえないと思わない
- 思わない

質問3 議員に立候補する最大の壁は何ですか？(複数選択可能)

- 現在の報酬額(月額254,000円)では生活できないと感じること
- 社会保険、年金などの制度がなく将来が不安なこと
- 世間の目や周りからの評価が気になること
- 議員になるための知識や経験が足りないと感じる
- 応援してくれる人を集めるのが難しいこと

質問4 あなたは議員が町民の代表として、町政に町民の声を反映していると思いますか？

- 反映していると思う
- どちらかといえば反映していると思う
- どちらともいえない
- どちらかといえば反映していないと思う
- 反映していないと思う

質問5 「反映していないと思う」「どちらかといえば反映していないと思う」を選択された方に伺います。その理由を教えてください。(複数選択可能)

- 町民の意見を聞く機会が少ないと感じるから
- 議員が何をしているのか分かりにくいから
- 一部の人の意見だけが反映されていると感じるから
- 町民の声の町政にどう生かされたのか見えないから
- 意見を出しても町は変わらないと思うから

質問6 議会を身近にするために、町議会に最も取り組んでもらいたいことは何ですか？(複数選択可能)

- 議会や議員の活動を、分かりやすく発信すること(SNS・動画など)
- 町民の意見を聞く機会を増やすこと(意見交換会・アンケートなど)
- 様々な人が参加・意見表明できる場をつくること
- 町の行政運営のチェック機能
- 町や町民の利益になるような政策の提言

質問7 令和5年10月の町議会議員選挙が無投票となった原因は何だと思いますか？(複数選択可能)

- 議員と仕事の両立ができないから
- 政治に関心がないから
- 選挙費用がかかるから
- 議員報酬が低いから
- 議員の活動内容がわからないから

質問8 女性や子育て世代が議員になるためには、何が必要ですか？(複数選択可能)

- 子育てと両立できるようにすること
- 会議の始まりと終わりの時間を決めて短くすること
- オンラインによる会議への参加ができること
- 報酬を高くして専業しやすくすること
- 議員年金制度を取り入れること

質問9 あなたが議員になるとしたら、議員報酬は月額(現在254,000円)どれくらい必要ですか？

- 25万円未満
- 20~30万円未満
- 30~33万円未満
- 33~36万円未満
- 36万円以上

質問10 議会議員のなり手不足に対するご意見・ご要望を自由にお書きください。

回答期限：令和8年6月30日(火)までWEBでも回答を受け付けております→



町長の思い「子育てとは何か」

町長 安心して子育てができること

問 家庭で子育てをする方への支援はどのようになっているか。

答 こどもセンターにおける各種子育て事業を展開し、家庭で子育てをする保護者の負担を軽減に努めているが、他団体などの連携を強化し、支援体制の充実に努める。

問 様々な施策を行っているが、職員の大きな負担になっているか。

答 少しでも負担軽減を考えているが、職員

は多忙というか、ギリギリのところをやっているのが現状である。

問 昨年、幼保連携のこども園の開設もあり、現在、待機児童はゼロになっている。そのようなか、保育体制の課題はあるのか。

答 課題については、どれだけあるか分からないが、職員の負担の軽減や、人員確保と考える。

問 少子化に起因する、幼稚園、小規模保育事業所の経営の悪化にどう対応しているか。

答 子育てと定住については一番力を入れているが、定住についてはまだ問い合わせが少なく、体制については様子を見ながら考える。

問 人口減少や、少子化に対して本腰を入れて重点的に進めて欲しい。

答 子育てと定住については一番力を入れているが、定住についてはまだ問い合わせが少なく、体制については様子を見ながら考える。

問 町長は、子育てにはどんな思いを持っているか。

答 子どもの顔、声は私たちが元気づける。しかし、子どもの数も減り、外で遊ぶ声も聞こえない。安心して子育てができる、まちづくりを目指していきたい。



きくち やすひこ 議員 菊地 康彦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

問 40年間、500名を超える子どもたちに野球を指導してきて、教えられたことがある。それは「子どもから教えられる」という教訓だ。親も「子どもから教えられる貴重な期間」が子育てだと思おうので、そのためには、町長に子どもたちを立派な大人に育てていただくことを希望する。



元気に育ってね！

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。なお、裏面は「議会だより読者アンケート」となっております。ぜひそちらもご回答ください。

魅力あふれ住みたくなる町づくりを

町長 地域の価値を生かし賑わいを創出

問 令和3年廃校になった坂元中学校の利活用の見直しは。

答 令和7年度施設全体の総括管理未利用箇所について、地域おこし協力隊員を採用し体制強化をしている。未利用箇所について早期に利活用事業者確保を図っている。

問 遺構中浜小学校との連携性を考えた防災拠点として活用する考えは。

答 坂元中学校はコンセプトを決めて利活用

を図っている。その関連で防災教育の連携を考える。

問 町内には宿泊施設がない。防災キャンプ的なものに活用したら利用者増になるのでは。

答 新規入居者の掘り起こし、積極的誘致活動に取り組み入居事業者との連携を深める。基本コンセプトに基づき地域に新たな価値と賑わいをもたらす拠点としていきたい。

問 子育て支援の環境整備の成果と取り組み

について伺う。

答 子育て世帯の経済的負担軽減策として、令和6年度から実施している小中学校の給食無償化の導入や「出産祝い育児支援チケット」配布、幼稚園や認定こども園入園する保護者への補助金交付を実施。

保護者育児負担軽減策として、つばめの杜保育所ではおむつの定額制サービス（サブスクリプション）を導入する連携協定を締結した。高まる保育ニーズに対応するため、保育体制強化を図り、幼保連携認定型こども園の開園を支援し、待機児童解消に向けた体制が前進している。

問 行政と民間が連携し実施している子育てについて伺う。

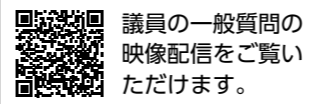
答 地域子育て支援拠点事業を実施し、お母さんたちの集まる場を提供している。行政だけでなく、NPO「夢ふうせん」や「やまもと認定こども園」で民間の力を借り実施している。

問 家庭教育支援チーム「つばめ」は、活動が認められ令和7年度文部科学大臣表彰を受けた。今後の行政・地域連携の考えは。

答 今後も関係機関や団体と連携を図り、安心して暮らし続けられる環境づくりを推進し若い世代に選ばれる魅力あるまちづくりに取り組んでいく。



議員 岩佐 孝子



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

横断歩道設置など安全対策を

町長 できるだけ早く対応する

問 2018年からの5年間で小学生の交通事故による死者数は全国で2185名、うち6割が歩行中のもので、特に1・2年生で7割以上を占めている。通学路の対策強化が

急務となっているが、これまで、要望・指摘されてきた対策の取り組み状況は。

答 山元町通学路安全対策推進会議の中で、毎年定期的な安全点検を実施するなど、安全確保に努めているが、

昨年度までに改善が必要と判断した箇所のうち、町が対応すべき箇所は全て完了。

各小中学校から新たに指摘された問題箇所についても、改善策を検討し、早急に対応していく。

問 これまで要請してきた山一山の山元第一自動車前の横断歩道設置が認められないが、その理由は。

答 縦断勾配があつて、スピードが出やすい構造となっていること、

カーブになっており視認性が取れないことから、設置困難という警察の意見が理由である。

問 「危険だから設置しない」とのことだが、教育委員会も同じ理由か。

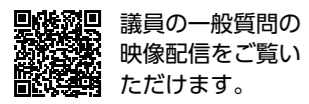
答 警察が難しいというところなので、どんなことができるのか検討し、できるだけ早く対応する。

その他の質問

就学援助制度の取り組み
長引く不況で町民の暮らしは大変。子育て世代に対しては、今の物価高騰の下では十分とは言えず、さらなる支援策の充実が求められるが、対策は。



議員 遠藤 龍之



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



整備された山下区内の横断歩道

介護保険料の自己負担軽減を

町長 引き続き安定運営に取り組む

問 介護保険は、令和8年4月で制度開始から26年を迎える。制度発足当初と比べると利用者数は3倍以上に増えており、大きな役割を果たしている。

一方で、介護保険料の増大、この間の人材不足と事業所の撤退・廃業による提供体制の崩壊が叫ばれる事態となっているが、高齢者の単身・二人世帯の暮らしの現状をどう見ているか。

答 令和6年度末時点で単身世帯は998世帯、二人世帯は78世帯であり、合計で全世帯の36.4%を占め、毎年増加傾向にあり、その対策は重要であると考えている。

問 介護保険法見直しの対応は。答 国では、介護人材確保に向けた処遇改善や利用者自己負担額の増額などについて検討が進められている。

問 内容については、介護利用料2割負担の対象拡大、ケアプラン作成の有料化等々、被保険者のこれまで以上の負担が伴う内容のもので、何らかの対応をすべきと考える。介護保険料の負担軽減は。

答 引き続き介護保険事業会計の安定運営に取り組む。



やまもとはじまるしえでにぎわう旧坂元中

問 未来を担う子どもたちは「未来の山元町を今よりも有名に、もっと遠くへ届けたい。」と語っている。

未来を担う子どもたち、知恵と技を持った高齢者と共に世代を越え作り上げてもらいたい。

国政選挙日程は配慮すべき 意見書1件を可決

議発第1号

衆議院解散及び国政選挙の執行体制の改善を求める意見書

提出者 遠藤 龍之

賛成者 品堀 栄洋

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣



提出者

意見要旨

衆議院解散から投開票までの期間が不透明かつ短期であったため、自治体は十分な準備ができず、投票事務の混乱や誤りが各地で発生した。加えて、選挙期間が豪雪期や受験期と重なり、投票所の確保や住民の移動、教育現場にも影響を及ぼした。

また、選挙執行経費に係る財源の見通しが遅れ、適切な予算対応が困難となった。これらを踏まえ、解散・日程の予見性向上、生活環境に配慮した日程設定、迅速かつ正確な情報提供体制の構築、人員・研修体制の強化、財源提示の改善を求める。

町民の陳情（要望）を審査しました

- 陳情受付日 令和8年1月30日
- 陳情提出者 坂元地区行政連絡調整会議 会長 岩佐 勝

陳情の要旨

丘通りを中心とした各行政区の区民会館が建て替え時期にあり、既存の公的補助のみでは建設費用負担が大きいことから、補助金額の上限引き上げを求めるもの。



老朽化した町区老人憩いの家

審議の内容

審査は総務民生常任委員会に付託され、現在使用できる各種補助金制度の現状や、陳情者以外の行政区集会所の築年数を調査するなど、町全体として集会所の今後の在り方を含め審議を行いました。

その結果

さらに詳細に審査する必要があることから、審査期限を次回会期中（6月議会）まで延期し、審査を継続します。

※陳情：町の特定の事項について、住民、団体等が文書をもって実情を訴え、適切な措置を要望する行為。

請願と異なり、法的保護を受けるものではない。

その他の議案

条例（新規条例）

○山元町歯と口腔の健康づくり推進条例（議案第1号）

条例制定の目的

・町民の健康増進と健康寿命の延伸を目的に、歯と口腔の健康づくりを総合的・計画的に推進するための条例を制定。町、町民、医療・教育・事業者など関係者の役割を明確化するもの。

【施行期日】 公布の日から



委員長報告

その他議案

○山元町過疎地域持続的発展計画について（議案第8号）

計画の目的

・過疎法（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法）に基づき、地域の持続的発展に向けた施策を体系化し、国の支援を活用して推進する計画。

【町の様々な事業の財源を有利に確保することができる制度】

【計画期間】 令和8年4月1日～令和13年3月31日（後期5年間の計画を改めて策定）

可決までの流れ

1 議案審査の委員会付託

計画の内容をより詳細に把握・審査するため、総務民生常任委員会に審査が付託されましたが、計画内には所管外の内容も多数含まれていたことから、産建教育常任委員会との「連合審査」を開催し、様々な観点から慎重に審議されました。

2 連合審査のポイント

- ・町民の生活にどの程度影響が出るのか
- ・新規事業・取りやめた事業の内訳、前期5年の評価を反映したのか



3 審査の結果

（総務民生常任委員会委員長報告）

○可決すべきもの

なお、特に留意すべき点として次の通り意見が付されました。



進行中の前期計画の事業が途切れることにより町民の生活に影響が出る事が確認された。

しかし、議案上程までの計画に遅れがあり説明不足であったため、今後は留意されたい。

人事【敬称略】

教育委員会委員の任命

【同意第1号】

よこやま まりこ
横山 真理子（山寺区）
を同意（再任）

総務民生常任委員会

◇地域公共交通

調査内容

町民バス実証運行によって得られた改善策を町地域公共交通協議専門部会等において、実施の是非や可否の協議・検討を行い、令和8年4月から実施しようとする運行内容の改正（案）を調査した。

意見

高齢者の移動困難や費用負担への配慮を念頭に利用者目線での運行改善を求めるとともに、事業者存続を踏まえた持続性の確保と役割分担、広報・広聴を強化することで住民の理解促進を図りたい。



便利になるかな

◇制度改正に伴う移住定住支援策

調査内容

移住・定住支援補助金の令和7年度制度改正内容、移住・定住策の取り組み及び各年度実績の推移を調査した。

意見

町内で増加する空き家活用促進のため、特に坂元地区での移住増進のため中古住宅リフォーム費用に対する補助金増額や重点化の対応が求められている。また、移住者の不安解消、戸内連携強化、PR資料の充実、事業者との空き用地情報共有など、制度の実効性向上と総合的な移住定住施策の向上を図りたい。

また、小学生の通学や妊産婦・障害者への支援、AI導入の可能性など、福祉・教育部門との連携強化を図りたい。

産建教育常任委員会

◇農業経営の現状と担い手確保対策

調査内容

町内農業従事者数や遊休農地・耕作放棄地面積の推移と現状を確認し、担い手に対する町の各種支援策について調査した。

意見

担い手不足や高齢化への対応として、新規就農支援や法人化促進、既存農家の継続支援を含めた中長期的な農業振興策を明確にし、実効性ある施策を推進すべきである。

◇排水対策

調査内容

各地区で発生している排水不良の技術的要因と対策工事等今後の計画について調査した。

意見

各地区の排水問題解消に向け、維持管理の徹底と併せて抜本的な改修を国・県へ要望するとともに、遊水池整備など総合的な対策を早急に講じるべきである。



坂元川のいま

町の仕事をチェック!!

議員のなり手不足対策調査特別委員会 活動報告

◇第9回委員会

調査内容

3月27日（金）

令和8年5月～8月に実施予定のアンケート調査の項目を精査した。すでに住民アンケートを実施した他自治体の事例を参考にしつつ、山元町にあわせた項目を決定した。

また、6月以降に「各種団体との意見交換会」を実施しながら、「第2～3回有識者セミナー」及び住民参加型の「ゼミナール」の開催することを確認した。



初めての取り組み

河村先生、おしえて

〈第1回議員のなり手不足セミナーから〉

全国町村議会議長会町村議会議員のなり手不足対策検討会委員などを務める拓殖大学政経学部 河村和徳教授を迎え、2月15日（日）「議員のなり手不足の現状と課題」と題した第1回議員のなり手不足セミナーを開催した。

講演では、以下のポイントの解説を受けた。

- (1) 議員のなり手不足は「構造問題」
- (2) 「議員の定数・報酬」をめぐる誤解と実相
- (3) 制度・文化起因の障壁
- (4) 2023年の地方自治法改正のポイント
- (5) 打開策（国内外の示唆）

参加者質疑事項

- Q 議員は「住民の代表」か「町のリーダー」か。
- A 原則は住民全体の代理である。
- Q 行政には民間のような「投資→生産→回収」のサイクルが見えないが。
- A 行政の目的は公共の福祉最大化で、収益回収ではない。
- Q 選挙は必要なのか。くじ引きではどうか。
- A 選挙は権力集中を抑え、最悪の意思決定を回避するための仕組みである。
- Q 報酬額が低くて勧誘しづらいが、町民として何をすべきか。
- A 仕事量の可視化と拡充、報酬審の制度化、説明責任3点セットを進めるべき。
- Q 地域おこし協力隊など外部人材の議会参入は。
- A 鍵は「ゲートを開ける仕組み」議会・首長・商工会等が、ネットワークに引き入れる。
- Q 高齢議員が多いが、定年制は導入できるのか。
- A 日本は地縁依存が強く、譲渡意思がないと世代交代しづらい。
- Q 「日曜議会」「夜間議会」は有効か。
- A プロ志向と兼業容認の二つの理念設計をすることが大事である。
- Q 定数13人の根拠説明は。
- A 委員会は6～9人が機能的で、常任委員会の数×委員数+議長は必要。
- Q 2023年の地方自治法改正で議員の何が変わるか。
- A 「なり手不足」下でも仕事量は増加しているため、待遇・働き方の再設計が急務である。

議員の会議等出欠状況

令和8年1月1日～3月31日 ※中途で正副議長交代に伴い議席番号が変更されています。 出席：○ 欠席：欠（病欠等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13
				竹内和彦	高橋眞理子	遠藤龍之	丸子直樹	大和晴美	渡邊千恵美	品堀栄洋	岩佐秀一	齋藤俊夫	岩佐孝子	伊藤貞悦	菊地康彦
1	8	木	議会議員のなり手不足対策調査特別委員会 広報・広聴常任委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—
	13	火	産建教育常任委員会	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	—
	15	木	全員協議会 広報・広聴常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	火	広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	○	—
	21	水	議会運営委員会 全員協議会	○	—	○	—	○	—	—	○	○	○	○	○
	22	木	宮城県町村議会議長会議員講座	—	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	—
	23	金	広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	○	—
	27	火	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	水	総務民生常任委員会 議会議員のなり手不足対策調査特別委員会 広報・広聴常任委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○
	29	木	仙南・巨理地方町議会議長会合同研修会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
30	金	産建教育常任委員会	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	—	—	
31	土	議会報告会・意見交換会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	2	月	全員協議会 議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	月	産建教育常任委員会 宮城県町村議会議長会正副議長研修(2/9～10)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○
	12	木	広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	欠	○	○	—	—	—	○	
	13	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	日	議会議員のなり手不足を考えるセミナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	金	議会運営委員会 全国町村議会議長会広報クリニック	○	—	○	—	公	—	—	○	○	○	○	—
27	金	第1回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	3	火	第1回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	水	第1回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	5	木	総務民生常任委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○
	6	金	第1回議会定例会 予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			予算審査特別委員会(3/9・10・12・13・16)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	12	木	広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	○	
	13	金	総務民生常任委員会・産建教育常任委員会連合審査	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	欠
	17	火	総務民生常任委員会 産建教育常任委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	欠	—	—	○
	19	木	第1回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	27	金	議会運営委員会 議会議員のなり手不足対策調査特別委員会	○	—	○	—	○	—	—	○	欠	○	○	○
	30	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
31	火	広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	○		

議長交際費

区分	1月		2月		3月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	5,000	消防団元団長叙勲受賞お祝い会	27,500	第60回建国記念の日を祝う宮城県大会など	12,000	巨理警察官友の会早春懇親会など
慶弔	—	—	—	—	—	—
その他	4,043	議会報告会来場者用飲料など	2,376	議員のなり手不足を考えるセミナー講師食事など	20,000	東日本大震災15周年式典献花
合計	9,043		29,876		32,000	

令和8年 第1回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第1号	専決処分報告について(工事請負契約金額の変更)	報告
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度山元町一般会計補正予算・専決第3号)	承認
議案第1号	山元町歯と口腔の健康づくり推進条例【P14に記載】(総務民生常任委員会に審査を付託)	可決 (全会一致)
議案第2号	山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第3号	山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	
議案第4号	山元町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第5号	山元町国民健康保険条例の一部を改正する条例	
議案第6号	山元町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第7号	道路法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第8号	山元町過疎地域持続的発展計画について【P14に記載】(総務民生常任委員会に審査を付託)	
議案第9号	令和7年度山元町一般会計補正予算(第6号)	
議案第10号	令和7年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	
議案第11号	令和7年度山元町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	
議案第12号	令和7年度山元町水道事業会計補正予算(第5号)	
議案第13号	令和7年度山元町下水道事業会計補正予算(第3号)	
議案第14号	令和8年度山元町一般会計予算【P4～6に記載】	
議案第15号	令和8年度山元町国民健康保険事業特別会計予算【P4～6に記載】	
議案第16号	令和8年度山元町後期高齢者医療特別会計予算【P4～6に記載】	
議案第17号	令和8年度山元町介護保険事業特別会計予算【P4～6に記載】	
議案第18号	令和8年度山元町水道事業会計予算【P4～6に記載】	
議案第19号	令和8年度山元町下水道事業会計予算【P4～6に記載】	
同意第1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて【P14に記載】	同意
議発第1号	衆議院解散及び国政選挙の執行体制の改善を求める意見書【P15に記載】	可決 (全会一致)
その他	5番菊地康彦議員の「議員の辞職」について	許可

請願・陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第10号	令和8年度山元町補助金要望書	巨理山元商工会 会長 早坂 正実	配付のみ
陳情第1号	令和7年度振興策要望書【P15に記載】 (総務民生常任委員会に審査を付託)	坂元地区行政連絡調整会議 会長 岩佐 勝	継続審査

すきです
Yamamoto



心を合わせて響く歌声

1972年に結成、今年53年目を迎えるどらごえサークルです。

「一人ひとりの声はどらごえでも心を合わせれば素敵なハーモニーになる」というのが命名の由来です。歌う楽しさや平和を願ううたごえ活動の中で、山元町を中心に広く皆さんに呼び掛け「この町で歌う合唱団」や「山元ぞうれっしゃ合唱団」を結成して、仙台で発表したこともあります。毎年開かれる日本のうたごえ祭典での合唱発表会に出場することを目標に、毎週火曜日に坂元地域交流センター（ふるさとおもだか館）で練習に励んでいます。

また、6月21日に坂元地域交流センター（ふるさとおもだか館）で歌声喫茶を開催します。お気軽においでください。一緒に歌いましょう。



きくち たかのり
菊地 孝式 議員
(つばめの杜東区)



くさか しげき
日下 重紀 議員
(町区)



むらの りさ
村野 里砂 議員
(花釜区)

4月19日山元町議会
議員補欠選挙において
当選された3名の議員
をお知らせいたします。

お知らせ

委員 大和 晴美
委員 品堀 栄洋
委員 村野 里砂
副委員長 渡邊千恵美
委員長 丸子 直樹

〈議会広報・
広聴常任委員会〉

令和8年 第2回山元町議会定例会 (予定)

会期：6月5日(金)～12日(金)
開会：午前10時
本会議：6月5日・9日・10日・12日
(一般質問：6月9日・10日)

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集デスク

町内各小中学校では、この春、入学式が挙行され、多くの児童生徒が新たな一歩を踏み出しました。入学された皆さん、ご家族の皆さまに心からお祝い申し上げます。新しい環境のもと、それぞれが希望を胸に歩みを進めていくことと思えます。

議会としても、町民の皆さまの負託に応え、町の課題に真摯に向き合い、十分な議論を重ねながら、より良い町政の実現に努めてまいります。今後とも町民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

(委員 品堀 栄洋)